

- 問1 国際社会において、利益を目的とせず、国境を越えて人権の保護、環境保全、貧困救済などの課題に取り組む、市民によって組織された民間団体の名称として適切なものはどれか。(2019年 香川公立入試 類似)
1. 非政府組織 (NGO)
 2. 国連平和維持活動 (PKO)
 3. 政府開発援助 (ODA)
 4. 環太平洋経済連携協定 (TPP)
- 問2 江戸幕府の歴代将軍の中で、18世紀後半から19世紀前半にかけて約50年という最も長い在職期間を務めた、第11代将軍は誰ですか。(2019年 香川公立入試 類似)
1. 徳川吉宗
 2. 徳川家斉
 3. 徳川家慶
 4. 徳川綱吉
- 問3 本州の西側に位置する山陰地方の島根県に所在し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出したことで知られる鉱山があります。2007年には、自然環境と調和した産業遺産としての価値が認められ、世界遺産 (文化遺産) にも登録されたこの鉱山の名称を選びなさい。(2024年 香川公立入試 類似)
1. 石見銀山
 2. 佐渡金山
 3. 足尾銅山
 4. 別子銅山
- 問4 株式会社における資金の循環において、調達した資金を設備投資や人件費に充てて生産・販売活動を行い、その結果として得られた利潤 (もうけ) の一部を株主に還元する仕組みがあります。この、株主への利益の分配を何と称しますか。(2022年 香川公立入試 類似)
1. 配当
 2. 利子
 3. 社債
 4. 内部留保
- 問5 日本の労働環境において、雇用形態の違いによる「賃金格差」が問題となっています。正社員と非正規雇用労働者の年齢別・時間あたり賃金の傾向を比較した際、その実態を正しく説明しているものはどれですか。(2023年 香川公立入試 類似)
1. 正社員は年齢とともに賃金が右肩上がりに上昇する傾向があるのに対し、非正規雇用労働者は低い水準で横ばいとなる傾向があり、年齢が上がるほど両者の格差は広がる。
 2. 正社員と非正規雇用労働者の賃金は、どちらも年齢に関わらず一定の水準で維持されるため、生涯を通じて格差が広がることはない。
 3. 非正規雇用労働者は若年層のうち正社員よりも高い賃金を得るが、終身雇用制度の影響で、中高年層になると正社員の賃金が非正規雇用労働者を逆転する。
 4. 非正規雇用労働者の賃金は年齢が上がるにつれて急激に上昇するが、正社員の賃金は若年層から高年層まで一定の低い水準にとどまるため、格差は縮小する。
- 問6 インドのように、人口統計上において若年層の割合が高く、人口構成を示すグラフの裾野が広い三角形の形状 (富士山型) を示す国々において、将来の経済成長と社会課題に関する説明として最も適切なものはどれですか。(2022年 香川公立入試 類似)
1. 豊富な労働力が確保できる一方で、子供たちの教育や若者の雇用の場の整備が重要な課題となる。
 2. 高齢化が急速に進んでいるため、現役世代の社会保障費負担を減らすための増税が急務となる。
 3. 若年層の人口が急激に減少しているため、労働力不足を補うための外国人労働者の受け入れが不可欠となる。
 4. 人口全体が減少に転じているため、国内の消費市場が縮小し、製造業の海外移転が加速する。
- 問7 飛鳥時代に聖徳太子が小野妹子を遣隋使として派遣した際、当時の日本 (倭) が目的としていたことや、外交上の姿勢として正しい説明はどれか。(2016年 香川公立入試 類似)
1. 中国の進んだ文化や制度を取り入れるとともに、従来の形式にとらわれない対等な立場での外交を目指した。
 2. 唐の優れた律令制度を学ぶために、阿倍仲麻呂などの留学生を送り込み、国内の法整備を急いだ。
 3. 後漢の皇帝に朝貢して金印を授かることで、九州地方にある倭国の支配力を強めようとした。
 4. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号を得ることで、その武力を背景に邪馬台国による連合を維持しようとした。
- 問8 日本の社会保障制度は「社会保険」「公的扶助」「社会福祉」「公衆衛生」の4つの柱から成り立っています。このうち「社会保険」が、全額公費 (税金) でまかなわれる生活保護などの「公的扶助」と制度の仕組みにおいて大きく異なる点はどこにありますか。(2022年 香川公立入試 類似)
1. 受益者となる労働者やその事業主が、あらかじめ保険料を出し合って財源を確保する点。
 2. 生活に困窮している人だけを対象に、最低限度の生活を保障することを目的とする点。
 3. 感染症の予防や環境衛生の改善など、地域全体の安全を確保することを主目的とする点。
 4. 国や地方公共団体の予算のみを財源とし、国民が事前に費用を負担しない点。
- 問9 1950年代半ばから約20年間にわたり日本の経済が飛躍的に発展した「高度経済成長」が終焉を迎え、その後の「安定成長」へと移行する直接的なきっかけとなった出来事はどれですか。(2019年 香川公立入試 類似)
1. 第1次石油危機 (オイル・ショック)
 2. 朝鮮戦争による特需の終了
 3. プラザ合意による急速な円高
 4. バブル経済の崩壊
- 問10 室町幕府の政治体制における「管領」の説明として、その仕組みや特徴を正しく述べたものはどれか。(2018年 香川公立入試 類似)
1. 足利氏の一門である有力な守護大名が交代で務め、将軍に次ぐ立場で実務機関を指揮した。
 2. 北条氏が独占的に世襲し、将軍の幼少期だけでなく成人後も政治の全権を握り続けた。
 3. 徳川氏に忠誠を誓う譜代大名の中から選ばれ、複数の人数による合議制で重要事項を決定した。
 4. 天皇を助けるために設置され、全国の武士を統制することで律令制度の復活を目指した。
- 問11 日本列島付近において、震源の深さが太平洋側から日本海側に向かって次第に深くなっていく理由として、最も適切なものはどれですか。(2024年 香川公立入試 類似)
1. 海洋プレートが大陸プレートの下に斜めに沈み込んでいき、その境界や沈み込んだプレート内部で地震が発生するから。
 2. 大陸プレートが海洋プレートの下に斜めに沈み込んでいき、その境界や沈み込んだプレート内部で地震が発生するから。
 3. 太平洋側よりも日本海側の方が地殻の厚みが薄く、マンツルの対流によって深い場所で岩盤が壊れやすいから。
 4. 日本海側には大規模な火山帯が分布しており、マグマが上昇してくる通り道が太平洋側よりも深い場所にあるから。
- 問12 1895年、日清戦争の講和条約である下関条約によって日本は遼東 (リャオトン) 半島の割譲を受けました。しかし、ロシアはある2つの国を誘って、この半島を清に返還するよう日本に強く要求しました。この出来事を何と称しますか。(2019年 香川公立入試 類似)
1. 三国干渉
 2. 三国同盟
 3. 対華21カ条の要求
 4. ポツダム宣言
- 問13 明治時代の歴史的出来事を整理した時系列において、1871年の岩倉使節団派遣よりも後、かつ1885年の内閣制度創設よりも前の1877年に、鹿児島県で西郷隆盛を中心として起こった、明治政府に対する最大規模の土族反乱は何ですか。(2023年 香川公立入試 類似)
1. 西南戦争
 2. 戊辰戦争
 3. 秩父事件
 4. 甲申事変

答え合わせ・解説

問1	答え 1 非政府組織（NGO）	国際的な課題に対して自発的に活動する市民の集まりであり、政府とは独立した立場で活動する民間団体です。国連の専門機関や政府機関とは異なり、草の根の視点から柔軟に活動を展開できるという特徴があります。
問2	答え 2 徳川家斉	1787年から1837年まで在職した徳川家斉は、江戸幕府の歴代将軍の中で最も長くその座にありました。就任当初は松平定信による寛政の改革が行われましたが、定信の退いた後は自ら政治を主導し、華やかな文化が栄えた「大御所時代」を築きました。
問3	答え 1 石見銀山	島根県の大田市に位置するこの銀山は、16世紀に「灰吹法（はいふきほう）」という新しい精錬技術が導入されたことで産出量が飛躍的に増加しました。当時、日本は世界有数の銀産出国となり、その中心であったこの地は国際経済にも大きな影響を与えました。新潟県の佐渡金山や栃木県の足尾銅山など、他の有名な鉱山との位置や産出資源の違いを把握しておくことが重要です。
問4	答え 1 配当	企業は株式を発行して集めた資金で事業を運営し、利益が出た場合には出資者である株主に対してその持ち分に応じた利益の分配を行います。一方、「利子」は銀行からの借り入れや社債に対して支払われるものであり、利益の有無にかかわらず契約に基づいて支払われるという違いがあります。
問5	答え 1 正社員は年齢とともに賃金が右肩上がりに上昇する傾向があるのに対し、非正規雇用労働者は低い水準で横ばいとなる傾向があり、年齢が上がるほど両者の格差は広がる。	日本の多くの企業では、正社員に対して勤続年数や年齢に応じた賃金体系（年功序列など）が適用されるため、年齢とともに時間あたりの賃金も上昇する傾向にあります。一方で、非正規雇用労働者の多くは仕事内容や契約期間によって賃金が固定されやすく、加齢や経験による賃金上昇が緩やか、あるいは横ばいであるため、若年層よりも中高年層において正社員との賃金格差が顕著になります。この格差の解消に向け、「同一労働同一賃金」の導入などが進められています。
問6	答え 1 豊富な労働力が確保できる一方で、子供たちの教育や若者の雇用の場の整備が重要な課題となる。	若年層が多い人口構成は、将来的に働く世代が増えることを意味し、経済成長を後押しする「人口ボーナス」が期待できる状態です。しかし、そのポテンシャルを活かすためには、増え続ける子供たちへの教育体制を整えることや、成長した若者が十分に働けるだけの産業を育成し、雇用を創出することが国家としての大きな課題となります。選択肢にある高齢化や人口減少は、主につば型の人口構成を持つ先進国で見られる課題です。
問7	答え 1 中国の進んだ文化や制度を取り入れるとともに、従来の形式にとらわれない対等な立場での外交を目指した。	聖徳太子による遣隋使の派遣は、進んだ制度や仏教文化を導入する目的のほか、中国の皇帝に対して対等な立場で国交を結ぼうとした点に大きな特徴があります。阿倍仲麻呂は後の時代の「遣唐使」に同行した人物であり、奴国や卑弥呼の事例はより古い時代の外交目的です。
問8	答え 1 受益者となる労働者やその事業主が、あらかじめ保険料を出し合って財源を確保する点。	社会保険は、国民が互いに助け合う「共助」の考え方に基づいています。働いている人や事業主が事前に「保険料」を支払うことで、病気や失業、老後などの困難が生じた際に給付を受けられる仕組みです。これに対し、生活保護に代表される公的扶助は、生活に困窮する人々に対し、事前の保険料負担なしに全額税金で最低限度の生活を保障する「公助」としての性格を持っています。
問9	答え 1 第1次石油危機（オイル・ショック）	1973年の第4次中東戦争をきっかけに原油価格が高騰した第1次石油危機により、日本は戦後初めてのマイナス成長を経験しました。これにより、1950年代半ばから約20年間続いた高度経済成長は終わりを告げ、それ以降は低成長ながら持続的な発展を目指す安定成長期へと移行しました。
問10	答え 1 足利氏の一門である有力な守護大名が交代で務め、将軍に次ぐ立場で実務機関を指揮した。	管領は、足利氏の有力な分家である細川・斯波・畠山の三家（三管領）が交代で務めることが慣例でした。室町幕府は有力な守護大名の連合政権という性格が強かったため、彼らの中から選ばれた管領が、侍所などの実務機関を統括しながら幕政の安定を図りました。これに対し、執権は鎌倉幕府、老中は江戸幕府の役職であり、それぞれの幕府によって権力の構成や選ばれる家柄が異なります。
問11	答え 1 海洋プレートが大陸プレートの下に斜めに沈み込んでいき、その境界や沈み込んだプレート内部で地震が発生するから。	海洋プレートは大陸プレートの下へと斜め下向きに沈み込んでいます。地震の発生場所である震源は、この沈み込んでいるプレートの上面やその内部に集中しています。太平洋側の入口から日本海側へと進むにつれて、沈み込んだ海洋プレートの深さは増していくため、震源の分布もこれに従って深くなっていきます。このように震源が斜めに分布している面を「沈み込むプレートの境界」として捉えることができます。
問12	答え 1 三国干渉	ロシア、フランス、ドイツの3カ国が、日本に対して遼東半島の返還を求めた出来事です。ロシアは自国の東アジアへの進出を妨げられることを恐れ、他国を巻き込んで日本に圧力をかけました。日本はこの要求を受け入れましたが、これをきっかけに国内ではロシアへの対抗意識が強まりました。
問13	答え 1 西南戦争	1877年に発生した西南戦争は、明治新政府の政策に不満を持つ鹿児島県の不平士族たちが、維新の功労者である西郷隆盛を指導者に仰いで起こした武力反乱です。これは岩倉使節団の帰国後、征韓論に敗れて下野した西郷が地元に戻った後に発生しました。この敗北によって士族による武力抵抗の時代は終わり、以後は言論による自由民権運動が主流となりました。